



カルシウム肥料

届出番号 徳島県第 290 号

カルハード

植物抽出成分配合 カルシウム肥料

包 装	1ℓ (1.3kg) ×12本 / ケース
-----	-----------------------

カルシウム欠乏症はさまざまな要因が複雑にからみあって起こります。

カルシウム含量が低い青果物、切り花は組織が柔らかく、日持ちが悪いと言われています。

「カルハード」は生育中の作物に容易にカルシウムを補給することができ、農作物の品質、日持ちを向上させる新しいタイプの有機キレートカルシウム剤です。

成分

カルシウム 8% (CaOとして11%)、糖類、有機酸

特長

1. 品質・日持ち向上

細胞が強化され、品質や日持ちの良い作物が収穫できます。

2. 植物抽出成分配合

植物抽出成分（糖類・有機酸）との相乗効果により、カルシウムが効率良く吸収・利用されます。

3. 散布で生理障害の防止

栽培中に、カルハードを直接作物体へ散布することにより、カルシウム欠乏に由来する種々の生理障害の防止に役立ちます。

4. 液剤タイプ

使いやすい液剤タイプで、作物に白い汚れが残りません。

使用方法

作物	希釈倍数 (倍)	散布間隔	主な効能
果菜類	500～1000 (※りんご 1000～ 2000)	育苗期以降 1～2週間	日持ち向上、生理障害の予防 (尻腐れ果・発酵果・肩こけ果・変形果など)
葉菜類・根菜類		定植期以降 1～2週間	生理障害の予防 (心腐れ・縁腐れ・葉先枯れ・チップバーン・心枯れなど)
豆類		生育中期以降 1～2週間	生理障害の予防(しみ症)、生育促進、収量増加
いも類		生育中期以降 2～3週間	生理障害の予防 (さといもの芽つぶれ・ばれいしょのカルシウム欠乏)
果樹類		落花後 2～3週間	日持ち向上、生理障害の予防 (りんごのビターピット・なしのみつ症など)
花卉類		生育期 1～2週間	日持ち向上、生理障害の予防(葉先枯れ・葉焼けなど)

使用ポイント

1. 適期の散布

鮮度保持や日持ち・貯蔵性の向上にはそれぞれ適期の散布が重要です。目的とするカルシウムの効能を最大限に発揮させるために、それに合ったステージや時期を失することなく散布してください。

2. 早めの散布

カルシウム欠乏症の出やすい作物には、早い時期からの散布が効果的です。

3. こまめな散布

特に生育が旺盛な時期やステージでは常にカルシウムが不足しないように散布してください。

使用上・保管上の注意

1. アルカリ性資材との混用はしないでください。
2. 肥料以外の用途には使用しないでください。
3. 幼児等の手の届かない場所に保管してください。
4. 容器の口を密封し冷暗所で保管してください。
5. 使用後は洗顔やうがいをし、皮ふに付着した場合は洗い流してください。
6. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
7. 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
8. 静置すると有機成分由来の沈殿が発生することがありますので、よく振って内容物を均一にしてからご使用ください。
9. 他の肥料との混用は、沈殿や結晶が発生しない場合でのみご使用ください。
10. 希釈液は腐敗しやすいため、その日のうちに使いきってください。
11. 夏期・高温時には、日中の散布はさけてください。
12. りん酸及び硫酸塩の入った肥料との混用は混和性を確認のうえ使用してください。
13. 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。